

作成日: 2021年05月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: カジリ 焼付き防止剤 AST227・AST454

製品番号 (SDS NO): 09310932001

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: ネジのカジリ・焼付き防止剤 回転センターの焼付き防止

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 旭エンジニアリング株式会社

住所: 大阪府大阪市福島区鷺洲4-4-3

担当部署: 管理部

電話番号: 06-6452-5811

FAX: 06-6452-5770

緊急連絡先電話: 06-6452-5811

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2B

皮膚感作性: 区分 1A

発がん性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

発がんのおそれ

臓器の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
水素処理 重質ナフテン系蒸留物	64742-52-5	30 - 40	9-1689; 9-1692; 9-1703
銅	7440-50-8	1 - 10	-
ドデシルベンゼンスルホン酸カルシウム	26264-06-2	1 - 10	3-1884; 3-1906; 3-1949

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府によるGHS分類結果一覧に収載されていません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

水素処理 重質ナフテン系蒸留物，銅

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

水素処理 重質ナフテン系蒸留物，銅

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

ドデシルベンゼンスルホン酸カルシウム

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

(皮膚に付着もしくは目に入った場合の症状)

眼：眼刺激

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防災服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

接触回避データなし

衛生対策

- 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 取扱い後はよく手を洗う。

保管**安全な保管条件**

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 施錠して保管すること。

(避けるべき保管条件)

- 高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置**管理指標**

管理濃度データなし

許容濃度

- (水素処理 重質ナフテン系蒸留物)
日本産衛学会(1977) 3mg/m³(鉱油ミストとして)
- (水素処理 重質ナフテン系蒸留物)
ACGIH(2009) TWA: 可能な限り低く(L)(上気道刺激)
(銅)
ACGIH(1990) TWA: 0.2mg-フューム/m³,
TWA: 1mg-ダスト及びミスト/m³(刺激、胃腸、金属ヒューム熱)

ばく露防止**設備対策**

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備を設ける。
- 手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具**呼吸用保護具**

- 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。推奨材質: ネオプレン、ニトリル、非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

- 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: 液体(ペースト状)

色: メタリック

臭い: 石油臭

臭いの閾値データなし

融点/凝固点: 適用外

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点 : (開放法) > 221°C

自然発火点データなし

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率 : > 25mm²/s (40°C)

溶解度:

水に対する溶解度 : 不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸発速度データなし

密度及び/又は相対密度 : 1.15

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性 : 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常の保管条件/取扱い条件において危険有害反応は生じない。

避けるべき条件

高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

混触危険物質

混触危険物質データなし

危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性データなし

労働基準法: 疾病化学物質

銅

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

ラビット 重度の刺激性 (PATTY 5th, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

ラビット (OECD TG 405 GLP) 7日以内に回復 (IUCLID, 2000)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

(銅)

区分 1A (産衛学会勧告, 2012)

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[日本公表根拠データ]

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

区分 1A; IARC Gr.1

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

IARC-Gr.1: ヒトに対して発がん性がある

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

ACGIH-A2(2009): ヒト発がん性の疑いがある

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

日本産衛学会-1: 人に発がん性があると判断できる物質

(水素処理 重質ナフテン系蒸留物)

EU-発がん性カテゴリ1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

労働基準法: がん原性化学物質

水素処理 重質ナフテン系蒸留物

催奇形性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(銅)

消化器 (ATSDR, 2004)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(銅)

気道刺激性 (ATSDR, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性データなし

水溶解度

(銅)

溶けない (ICSC, 1993)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない

正式輸送名：該当しない

分類または区分：該当しない

容器等級：該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程) に該当しない

IATA 航空危険物規則書に該当しない

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

発がん性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

水素処理 重質ナフテン系蒸留物

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

水素処理 重質ナフテン系蒸留物(別表第9の168);

銅(別表第9の379)

名称通知危険/有害物

水素処理 重質ナフテン系蒸留物(別表第9の168);

銅(別表第9の379)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)(5.0%)

消防法

第4類 引火性液体第4石油類 危険等級 III(指定数量 6,000L)

化審法に該当しない。

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

銅(中環審第9次答申の128)

水質汚濁防止法

指定物質

銅

法令番号 53

1日当たり平均的排水量50m³以上の特定事業場に適用される排水基準生活環境項目

水素処理 重質ナフテン系蒸留物

ノルマルヘキサン抽出物質含有量: C 5mg- 鉱油類/liter

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2020 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和元年度 (2019年度))です。